

# 第12回



## 3巡目 四国あゝるき 遍路の旅

2024/02/17

期日	曜日	コ	ー	ス	予	定	食事・宿泊			
1	2月16日	金	各自羽田空港到着、チェックイン	8:20発	JAL475	9:20着	9:45発	【歩いた距離】約14.4km 屋食:「こがね製麺所」 夕食・宿泊:「四国健康村」 宇多津町浜一番丁6710 0877-49-2600		
			琴空バス	10:38着	10:47発	JR土讃線	10:59着		11:05発	
			1番乗り場	JR琴平駅	11:20着	11:40発	岡山行き		12:20着	12:45発
			約1.0km	こがね製麺所	約1.9km	74番甲山寺	14:25着		14:50発	
			約1.4km	75番善通寺	約3.6km	76番金倉寺	16:00着		16:30発	
			約2.0km	葛原正八幡宮で休憩	約2.6km	77番道隆寺	17:07着		17:10発	
			約1.0km	JR多度津駅	JR予讃線	JR宇多津駅	18:30~			
			約0.9km	四国健康村	館内で食事					
			7:00	7:30発	一徒歩	8:00着	8:30発		一徒歩	【歩いた距離】約17.3km
			こがね製麺所で朝食	約2.0km	78番郷照寺	約1.6km				
9:00着	9:10発	一徒歩	10:05着	10:15発	一徒歩	屋食:「はま弥」 0877-47-3432				
田尾坂公園で休憩	約4.1km	八十場で休憩	約0.4km							
10:25着	10:45発	一徒歩	11:30着	11:40発	一徒歩	坂出市高屋町149373				
79番天皇寺	約2.9km	ファミマで休憩	約1.8km							
12:10着	12:50発	一徒歩	13:55着	14:05発	一徒歩	夕食:レストラン「シカ」				
「はま弥」で屋食	約2.8km	急登入り口で休憩	約0.5km							
14:30着	15:00発	-????-	15:30着	一徒歩	15:50着	高松市国分寺町新名721				
81番白蓮寺	約9.5km	ホテルジェンティー	約0.6km	80番国分寺						
16:20発	一徒歩	17:00着	一徒歩	18:00~		宿泊:ホテル ジェンティー				
80番国分寺	約0.6km	ホテルジェンティー	約0.6km	以ッシ「シカ」で夕食		高松市国分寺町国分740?1 087-874-3003				
3	2月18日	日	7:00発	一徒歩	7:10着	7:40発	一徒歩	【歩いた距離】約14.3km		
			ホテルジェンティー	約0.6km	マクドナルド(朝食)	約2.2km				
			8:10着	8:25発	一徒歩	9:00着	9:15発	一徒歩	朝食:マクドナルド	
			山道入り口で休憩	約1.3km	一本松東屋で休憩	約1.2km				
			9:50着	10:10発	一徒歩	10:15着	10:25発	一徒歩		
			十九丁分岐で休憩	約0.6km	足尾大明神でトイレ休憩	約1.6km				
			10:45着	11:20発	一徒歩	11:35着	11:35発	一徒歩		
			82番根来寺	約0.6km	五色台へんろ小屋	約5.5km				
			13:30着	13:55発	一徒歩	14:05着	14:13発		屋食:「こがね製麺所」	
			こがね製麺所で屋食	約0.7km	JR鬼無駅	JR予讃線				
14:21着	15:37発	一空港リムジン	16:22発	17:30着	ANA538					
18:45着	ANA538	18:45着	高松空港							
羽田空港	羽田空港									

【歩いた距離】約46.0km



令和6年2月16日~18日  
臨濟宗妙心寺派 圓福寺



### 春節の？羽田空港

飛行機出発時間に余裕をみて空港に着いたのに、検査場は想定外の長蛇の列です。三連休でもないのにと不思議に思いながら行列に並んでいる間に、そうか！中国の春節の観光客の影響だなどはたと気づきました。こんなところまで影響があるのかと驚きました。

好天の中、富士山が日本の象徴だとばかりに、きれいな姿を見せていました。



### こがね製麺所

——さぬきうどんで腹ごしらえ

前回時間切れでお参りし損ねた74番甲山寺最寄りの金蔵寺駅に降り立つと、時刻は11時。早朝自宅を出ていることを考えて、早めの昼食にすることにしました。甲山寺への道すがらに、おあつらえ向きになじみの「こがね製麺所」があったので、まずは腹ごしらえ。さぬきにたどり着いたことを実感しました。



すでになじみの店となった「こがね製麺所」です。

### 74番甲山寺

前回たどり着けなかった甲山寺が今回最初の札所です。

集合写真を撮ろうとしたら、外国人カップルのお遍路さんに出会いました。あつかましく集合写真のシャッターを押して頂きました。【右写真】



歩き始めは「金蔵寺駅」からですが、金蔵寺に向かう前に、甲山寺と善通寺をお参りします。羽田空港と違い、インバウンドは皆無でした。



左の二人は初参加の、日暮・稲田の信金ペアです。どことなく不安な感じが伝わってきます。右は、経験者のお姉さま二人で、余裕と貴禄が感じられます。





善通寺といえば、大本山らしい荘厳なたたずまいや五重塔を思い起こしますが、もう一つ有名なのが「カタパン」だと思います。【左の写真が店頭の様子】日露戦争の時の兵隊さんの携行食だったといわれる、固いパンです。当時のままの製法を守り、陳列ケースから紙袋に入れて売ってくれます。四国歩き遍路の道中には、さまざまな記憶に残る食べ物もありますが、この「カタパン」もそのうちのひとつに数えられると思います。インプラントの歯でかじると、割れた時の衝撃が脳天にまで伝わる逸品でした。



## 75番善通寺

善通寺は、弘法大師が生まれた地に建てられています。弘法大師空海はお寺の子どもではありません。また、実際に産まれた場所は明確ではないそうです。

しかしながら、この善通寺と京都東寺・和歌山高野山は、弘法大師三大霊跡として、真言宗では大切にされています。ちなみに、善通寺は十八ある真言宗本山の一つ、善通寺派の総本山だそうです。

遍路道にはいろいろな道しるべが建っています。「四国のみち」という環境省が設置したものや、中には下の写真のような手作りのものもあります。そんな道しるべが歩き遍路の頼りとなっています。

道しるべに導かれて住宅街を歩いたり、商店街を歩いたりもします。下右の写真は、善通寺南門から出た商店街ですが、人っ子一人歩いていないシャッター通りになっていました。





### 道しるべにご用心！

76番金倉寺から77番道隆寺までの古い遍路道は、自動車道の整備や新興住宅地の開発などで、ずいぶんわかりにくくなっていました。そのため、地元の人が手作りの道しるべを立ててくれているようです。しかし、古くからの遍路道を案内するのか、あるいは新しい道を使って近道をさせるのか、統一性がないために右に行く矢印があったり、左を指した矢印があったりで、さらに迷う元になっているような気がしました。

それでも、古くからのランドマークの神社の社叢などがかるうじて残っていて、多少遍路道はずれても、なんとか札所にとどり着くことができました。



最近の遍路で納経帳係をしてきている神山さんと栗田さん。先に納経所に行くために、みんなと一緒に参りできずに、後から二人でお参りしています。感謝、感謝です。

### 今宵の宿「四国健康村」



歩き遍路の旅程を作る上で、グーグルマップは強い味方です。昼ごはんや宿泊場所を探すのに大助かりです。一日目の宿はビジネスホテルしかないなあきらめつつ、地図を見ていると「四国健康村」という日帰り入浴施設を見つけました。調べてみると、宿泊もできるというので、歩いた疲れを癒すのに持って来いと思って早速予約したのでした。

しかも、館内で食事まで済ませることができるのでさらに好都合。あまり都合がよすぎて、飲み過ぎになった人もいたようですが・・・。



四国健康村は朝食がないので、向かいの「こがね製麺所」でうどんの朝食です。なんと朝六時から営業しています。朝からラーメンを「朝ラー」というそうですが、私たちの二日目は、「朝ラー」で始めました。

道中、道端にひっそりある古い道しるべや、台座の上に存在感ありげに建っているものもあります。大きい方は、街道の道しるべで、「東高松道」「西丸龜道」と彫られています。その右下には、八十八番大窪寺の案内もあり、結願もほど遠くないことを感じさせてくれます。



## 瀬戸大橋たもとの78番郷照寺



「朝ラー」でお腹を満たして歩くこと30分、郷照寺には納経所開店?の8時に到着。境内には敷き詰められた砂利をならす心地よい音が響いていました。

本堂の由緒を読むと、落慶の折に臨済僧の絶海中津禅師を招いたと書いてありましたが、絶海の「海」が「快」になっていたのが気になり、砂利をならしていた青年僧に注進すると、「アルバイトなのでよくわかりません。」とのことでした。

大師堂でお参りを終えて振り返ると、市街地の屋根越しに瀬戸大橋の橋脚が朝日を浴びて林立している様が印象的でした。



善通寺門前の「カタパン」同様、郷照寺の門前の名物は「地藏餅」です。門前にあるからにはその歴史もさぞやと思いますが、あにはからん、明治40年創業だそうです。

お寺から旧道に出て、右に行く遍路道をちょっとだけ戻って、店に立ち寄りしました。途中の休憩用に地藏餅と思ったのですが、まだ作っている最中と見えて、おはぎを買い求めていざ出発。

宇多津でもこの周辺は古街（こがい）といわれる歴史の残る地区で、お寺を始めに神社なども多い風情のあるところでした。

Title : 79番天皇寺

Date : 2024/02/17

【写真左】途中の田尾坂公園で地蔵餅をほおばって一休み。

【写真右】八十場（やそば）で休憩して、名物ところてん！と思ったら、お休みてした。



## 昔は高照院と言った、79番天皇寺



八十場の休憩所から天皇寺への道しるべにしたがって200mほどで、境内に入ります。札所にたどり着いたはずなのに、何か様子がおかしく感じます。それもそのはず、その境内は崇徳上皇を祀る白峯宮という神社です。

天皇寺は、神社社殿から一段下がった参道の両側に、本堂・大師堂と納経所がありました。ご多分に漏れず、明治の廃仏毀釈の影響で、かつての崇徳天皇寺が追い出された格

好になったのです。

それを知って、白峰宮を正面から眺めると、天皇寺の本堂らしい荘厳さを感じさせてくれます。

参道を挟んで、納経所・本堂・大師堂と建物がつながっていないのは、雨風などを考えると、毎朝のお参りをするのはそれだけでも大変だろうと同業者は思ってしまうのでした。



天皇寺を後にしてまっすぐ行くと、正面に屏風のように台地上の山並みが望めます。その山中に81番白峯寺と82番根来寺があります。

なかなかこのように、これから行く場所を俯瞰できる場所もないので、山並みを見てもらいながら、これからどう歩いていくかを説明させていただきました。やる気が出たか、うんざりしたか、がっかりしたかは不明です。

右の写真が昼食のうどんを食べた「はま弥」さんです。

今回の歩き遍路で、4食もうどんを食べましたが、この店が唯一チェーン店ではありません。お味はいかがだったでしょうか。



Title : 81番白峯寺への参道

Date : 2024/02/17

①正面に白峯寺の山が迫る。



②舗装道路から遍路道へ



「絵は活字よりも雄弁です。」写真を見ながら、あのきつい石段を思い出してください。

③休憩所から出発



⑥突如先の見えない石段が！



④歩き始めはなだらかでした。



⑦えんやこら、えんやこら！



⑤低い段差はありがたい！



⑧やっと登り切った！

伝説のヒッチハイカー福澤さんも、石段を登り切りました。

## 想定外！のタクシーとホテル

白峯寺でお参りを済ませると時刻は午後3時。ここから、あの急な下り石段を含めて、2日目の宿まで9.5kmを歩くとすると、優に3時間強かかると予想されました。下り切ったらあとは平坦な道、と高をくくってしまったのです。なにしろ、通常の歩き遍路は、国分寺から登って山中「十九丁」の分岐から白峯寺に向かい、お参りを終えたら十九丁まで戻って根香寺をめざすのです。つまり、あのきつい石段が続く白峯寺の参道は、四国のみちを選定はされていますが、遍路道ではなく、実は私も始めて歩く道だったのです。

というわけで、白峯寺からは想定外のタクシー移動となりました。タクシーでも30分か

かってホテルに到着。少し早すぎる気もしますが、歩き遍路の宿到着は大体午後4時くらいが目安とされているので、フロントに行くと、シャッターが下ろされていました。カウンターに「チェックインは午後6時から。」と掲示されているではありませんか。なんとチェックイン時間も想定外にでした。普通の宿なら当然チェックインできると疑いもしなかったミスでした。そういえば、この宿は昔モーテルだったそうで、部屋はきれいに改装されていましたが、フロント業務は昔のままのシステムなのかもしれません。

時間も早い事なので、3日目にお参り予定の80番国分寺のお参りを先に済ますことにしました。



## 売店でお参り？

さすが讃岐国分寺だけあって、鎌倉時代中期に再建された重文の本堂は、荘厳さと歴史を感じさせてくれます。

一方、昭和になって建てられた大師堂は3層構造で、その前に納経所と御守り売り場があり、大師堂のお参りは四方をお守りやらお土産物やらで囲まれ、さながら売店の中でお参りをするといった感じでした。

しかも、ローソクを取り換えるお婆さんが、お参りしているのに、おしりをこちらに向けてローソクを取り換えたりしているではありませんか。お大師さんにお参りしたのか、おしりにお参りしたのか？？？これも想定外？

## 夕食の想定外

いわくつきのホテルですから、食事の提供はなく、歩いて200mほどにある「レストランカ」【右写真】で夕食とシャれたのですが、ビールもワインも在庫切れとなってしまう、ここでも想定外に出くわしました。

いえいえ、タベの飲み過ぎをお大師さんが戒めたに違いありません。

帰る時に、オーナーから最中のお接待を頂きました。





### 朝食は、「朝マック」

食事のないホテルでの朝食といえば、すぐコンビニと思うのですが、13人も食べられるイートスペースはありません。屋外はさすがに寒いし、とマップを眺めていたら、マックを見つけました。そういえば、マクドナルドに「旅の前の朝マック」というCMがあったと思います。そうだ、「遍路の前の朝マック」にしよう！と、新命さんにネットオーダーをしてもらいました。

### 何か所あるのか「遍路ころがし」

もののガイドブックには、この山中にも「遍路ころがし」の箇所があるといえます。果たして八十八か所中、何か所あるものやら・・・。

緩やかな登りを進んで、山が近付いているというのになかなか本格的な登りにならない

時は要注意。必ずいきなりの急登が待ち構えています。登り始めた途中の白い岩山は、「国分寺カッパドキア」というらしいですが、そんなものには目もくれず、遍路ころがしを無事越えて、まずは「一本松」の東屋で一休み、県道に出れば、後は台地状の上を歩いていくことになります。



きつい登りの山道でも、時折振り返ってみると、讃岐特有の形の山が眺められて【右写真】、ほんの少しだけ疲れを癒してくれるようです。



## 無人接待所

一本松で県道の舗装道路を横切ると、遍路道は森の中に入っていきます。土の道から地面の柔らかさが足に伝わって来て、足に優しい遍路道です。

一本松から約1.2kmほどで、白峯寺との分岐点である「十九丁」にたどり着きます。分岐点は少し広がっていて、休憩用のベンチもたくさん設置されていました。

ベンチ脇に、コンテナボックスが積み上げられていて、ボックスに張り紙がしてありました。「景子ちゃんの接待所」と読めます。積み上げられたボックスを見て、こんなところで何か売っているのだろうか。何かの無人販売なのだろうかといぶかしく思いながら、ほかの張り紙も見ると、ひとり一本お取りくださいと書いてあり、無人のお接待所だとうまく理解することができました。感謝して、それぞれいただいたようでした。ありがとうございます。



【左の写真】  
県道の舗装道路を歩いたり、再び山の中の道に入ったりしながら、根香寺まで歩いていきます。



【上】十九丁から白峯寺に下っていく遍路道。これを下って白峯寺でお参りをし、再びここに戻って来て、根香寺を目指すのが正規のルートです。往復で5km強のアップダウンです。

【左】根香寺に向かう登り。

Title : 82番根来寺

Date : 2024/02/18

## メの讃岐うどん

根香寺から鬼無に向かったの山道の下りに想定以上の時間を要し、結局3日目の昼ごはんもなじみの「こがね製麺所」となりました。

都合、3日間の食事で、朝食も含めて4食の讃岐うどんでした。みなさん、コンビニのおにぎりが恋しくなったのではないかと思います。

お疲れさまでした。



## 最後の想定外



最後の想定外は、舗装道路からいきなり山の中に分け入る遍路道【左】ではなく・・・こんなのはもう慣れっこでしょうから・・・、マップで見つけて昼ごはんと思ったパン屋さん【右】が売り切れで残念だったこと。せっかく、この店を目指して歩いて来たのに・・・まさに想定外！



## あとがき

第12回のあるき遍路には、日暮・稲田両氏が初参加。皆勤賞の雨海さんと前回最年長の竹場さんが不参加だったので、いくぶん参加者の平均年齢が下がったようです。

82番根香寺まで打ち終えて、3巡目もあと1回か2回かと気になるところまでたどり着きました。それでも、最後まで気を抜かないで行きたいと思います。それでなくても、今回のように想定外がいろいろと起こるものですから・・・。

ただし、天気だけは3日間とも好天に恵まれて何よりでした。私事ですが、雨の日がな

かったお蔭で、足が無傷だったのは今までにあまり記憶がありません。

うどん4食の今回でしたが、老舗のうどん屋さんで食べることができずに残念でした。なにしろ歩いているので、うまい具合に食事時に老舗に入ることができなかったのです。

さて、気になる次回13回ですが、88番大窪寺まで行く予定です。そして、お礼参りとして3番から1番までを逆打ちして切り上げたいと思います。

その次の回で、高野山へのお礼参りと、大本山妙心寺へのお参りをして「満願」にさせていただきます。よろしくお願いいたします。



## 圓福寺 四国あるき遍路の旅 3巡目第12回写真集

写真：小林 照彦さん  
西川 浩平さん（ビデオから）  
宮田 宗格  
文章：宮田 宗格  
編集：宮田 宗格